

事務事業名		大船渡魚市場災害復旧事業		<input type="checkbox"/>	実施計画登載事業	<input type="checkbox"/>	合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	05 水産物の流通加工体制の強化		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度のみ	12	03	01	01	01
根拠法令	水産業共同利用施設復旧支援事業制度要綱ほか		<input type="checkbox"/>	単年度繰返 (開始 平成 年度～)						
所属	部課名	農林水産部 水産課		<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度					
	係名	漁政係	電話 27-3111 内線 371	※全体計画欄の総投入量を記入						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
<p>・平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により、大船渡魚市場施設は2階天井部分まで浸水し、建物、付帯設備から機械装置類に至るまで、壊滅的な被害を受けた。</p> <p>・被災した施設、設備等を早期に復旧し水揚げが可能な状態に回復させるため、国県の復旧支援制度(水産業共同利用施設復旧支援事業、産地魚市場緊急支援事業、水産団体機能回復支援事業)を活用し、施設、設備の修繕及び機器等の整備を実施した。</p> <p>・主な事務内容は、被災状況の把握、県への補助金申請事務、修繕業務委託手続き、備品等の購入手続き、納品検査、事業完了検査対応ほか</p> <p>【整備内容】 大船渡魚市場修繕(建築・機械設備、船舶給水設備、海水滅菌装置)、高圧受変電設備修繕、トラックスケール修繕、アスファルト舗装修繕、機器等の購入(フォークリフト、鮮度保持タンク、ベルトコンベア、魚受け台、デジタル台秤ほか)、卸売業者の事務所機能復旧事業への助成ほか</p>						総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
								事業費計(A)	0	
正規職員従事人数										
延べ業務時間										
人件費計(B)	0									
トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
① 手段(主な活動)		名称		
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位		
<ul style="list-style-type: none"> ・既存魚市場施設・設備の修繕に係る事務(修繕業務委託ほか) ・魚市場業務に不可欠な機器等の整備(フォークリフトほか購入) ・上記に係る補助金申請、完了検査、補助金請求事務ほか 		ア	復旧工事等委託件数	件
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	復旧した機械・器具類の数	個
<ul style="list-style-type: none"> ・23年度で事業完了 		ウ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
①魚市場		名称		
②水産流通加工業者		単位		
		カ	魚市場数	箇所
		キ	大船渡魚市場漁船問屋数	社
		ク	大船渡魚市場買受人数	社
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
①水産物の受入体制が確保される。		名称		
②水産物の水揚量が確保される。		単位		
		サ	本格営業月数	月
		シ	大船渡魚市場の水揚量	トン
		ス	大船渡魚市場の水揚金額	千円
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)				
<ul style="list-style-type: none"> ・水揚量が増える。 				

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	125,055				
		地方債	千円	3,200				
		その他	千円	52,975				
		一般財源	千円				0	0
		事業費計(A)	千円	181,230	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3				
		延べ業務時間	時間	260				
		人件費計(B)	千円	1,040	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	182,270	0	0	0	0
⑤活動指標	ア	件	4					
	イ	個	884					
	ウ							
⑥対象指標	カ	箇所	1					
	キ	社	14					
	ク	社	92					
⑦成果指標	サ	月	10					
	シ	トン	30,731					
	ス	千円	3,802,272					

事務事業ID	1475	事務事業名	大船渡魚市場災害復旧事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により、大船渡魚市場施設は2階天井まで浸水し、壊滅的な被害を受けた。加えて、地盤沈下の影響により満潮時には敷地の大部分が冠水するなど、水産物の水揚げが困難な状況となっていた。被災した施設、設備等を早期に復旧し水揚げが可能な状態に回復させるため、国県の復旧支援制度を活用し、施設、設備の修繕及び機器等の整備を実施することとなった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	隣接地で建設が進められていた新大船渡魚市場に関しても、同様に建設途中で被災した。工事再開には、被災箇所での修繕や地盤沈下に伴う嵩上げなど工法変更等が必要となっており、現在、設計者及び請負業者と工事再開に向けた協議を進めている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	既存市場施設は、新魚市場完成後には取り壊し予定であり、本格的な修繕は補助事業として採択されないため、修繕内容は応急復旧的な内容となっている。このため、施設内には未修繕となっている部分があり、卸売業者からは更なる対応策を求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 大船渡魚市場は当市における唯一の魚市場であり、被災した魚市場施設・設備、機器等の整備は、施策の目的である水産物の水揚量確保・増大に直接的に結びつくものである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 大船渡魚市場は公設(民営)の地方卸売市場であり、大船渡市が開設者となっている。関係条例、規則等により施設整備に関する部分は市の対応事項となっており、市の関与は必須である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 大船渡魚市場を利用する対象はある程度限定されており、意図に関しても短期的には施設の安全確保等が考えられるが、最終的な意図は水揚体制の確保に尽きるところであり、いずれも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 東日本大震災による応急的な復旧対策事業であり、緊急的に実施した単年度事業ではあるものの、整備した備品等を適切に管理していくことにより、ある程度長期間成果を保つことが可能と考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 単年度の緊急的な事業で実施済みの事業である。廃止・休止という考え方はなじまない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 単年度の緊急的な事業で実施済みの事業である。統廃合という考え方はなじまない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 補助事業として申請する際、制度要綱等に基づき適切な規模で算出したものであり、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 他の震災復旧事業とあわせ、必要最低限の人員で事業実施したものであり削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 補助事業の制度要綱に基づき、開設者である市が負担すべき部分と、卸売業者が負担すべき部分は適切に受益者負担を求めており、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災により甚大な被害を受けた魚市場施設・設備・機器等について、関係者と協議を行いながら早期に復旧を行い、水揚体制を確保することができた。 ・今後は、整備した備品等を適切に管理していくよう、関係者とともに対応していきたい。 									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>東日本大震災による応急的な復旧対策事業で、緊急的に実施した単年度事業であり事業自体は廃止となる。今後は、制度要綱に基づき整備した備品等を適切に管理していく。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>特になし。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	
-------	-----	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災により甚大な被害を受けた魚市場施設・設備・機器等について、関係者からの要請に可能な限り早期に対応し水揚体制を確保することができた。 ・今後、整備した備品等を適切に管理していくよう、卸売業者への指導を徹底していく必要がある。 									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>東日本大震災による応急的な復旧対策事業で、緊急的に実施した単年度事業であり事業自体は廃止となる。今後は、制度要綱に基づき整備した備品等を適切に管理していく。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
